

- 02 弘前城雪燈籠まつり
- 03 新年のあいさつ
- 05 特集  
受け継がれるふるさとの味
- 10 新春特別企画  
クロスワードで福袋
- 12 市政情報  
◆市民税県民税の申告  
◆20歳になったら国民年金  
ほか
- 16 フォトコレ in ひろさき  
岩木文化祭、弘前市場まつり、  
町会便り作成講座 ほか
- 17 学生企画コーナー  
もっと②♥弘前!!
- 18 暮らしの information  
イベント、教室など
- 26 Health Information  
健康の掲示板
- 28 smile 通信  
さらっと一句・川柳  
弘前市立図書館近着図書紹介  
食改さんおすすめレシピ  
THE 弘前人

## 弘前城 雪燈籠まつり

2月8日  
~11日

弘前公園を会場に市民手作りのまつり「弘前城雪燈籠(ゆきどうろう)まつり」を開催します。今年の大雪像は「旧弘前市庁舎」です。

ご協力ください。  
▽搬入期間 1月18日~20日の午前9時~午後4時  
▽搬入場所 弘前公園四の丸レクリエーション広場  
▽注意 汚れていない雪をお持ちください。公園には「緑の相談所」側の入り口から入り、係員または看板の指示に従ってください。ただし、園内の雪の状況で、搬入をお断りする場合があります。  
■問い合わせ先 観光政策課誘客推進係 ☎35・1128

### 雪燈籠制作者を募集

まつり運営委員会では、雪燈籠や雪像、ミニ雪像、雪だるまの制作者を募集しています。

▽制作期間 1月31日~2月7日  
▽参加条件 制作費・用具などは制作者が準備し、制作期間内に完成させること

▽制作内容 ①雪燈籠の制作者には、型枠、制作手引きを用意/②中雪像の制作者は、主催者が設ける幅3m、高さ4mの雪柱を素材に制作/③ミニ雪像の制作者には、型枠を用意。高さ2mの雪像を制作/④雪だるまは高さ約1.5mのものを制作

※制作場所はまつり運営委員会が指定し、配置図を後日送付します。

▽申込先 1月9日までに、弘前城雪燈籠まつり運営委員会(市役所5階、観光政策課内)へ。

### 雪の提供にご協力を

まつりの雪像などを作るため、除排雪した雪が必要です。雪の提供に



### 【今号の表紙】

ふるさとの味を召し上げ

伝承料理を広める活動を行っている「津軽あかつきの会」の皆さん。今号では、郷土料理にかける皆さんの思いや昔ながらの伝承料理作り取材しました。母ちゃんたちの魔法の手によって作り出される「ふるさとの味」。そこにはそれぞれの家庭で育まれた思いがたくさん詰まっていることでしょう(特集記事は5ページから掲載)。



広報ひろさきをアプリで読もう!



マチイロ

iOS・Android 対応

# 謹賀新年



市長  
櫻田 宏



市議会議長  
下山 文雄

## みんなでつなぐ「弘前」

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は「弘前さくらまつり100周年」という記念の年として、100年の歴史を振り返り、100年先に思いを馳せた年となったのではないかと感じております。本年は弘前市が誕生して130周年を迎える年でもあります。平成という時代から新しい元号に変わる年でもあり、先人が築き上げてきた「弘前」にさらに磨きをかけ、次の時代に胸を張って引き継いでいく、新しい「弘前」づくりが始まります。

市政運営の基本となる、現在策定中の新しい総合計画は、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づき、市民や企業、大学、行政などが一丸となって、地域を担う人材や新しい魅力、地域コミュニティなど、新たな「ひと・もの・こと」を創り出し、美しい自然と風格のある歴史や文化とともに、次の世代へつなぐための道しるべとなるものであります。新しい総合計画のもと、子どもたちの笑い声とそれを取り巻く大人たちの優しいまなざしの中で、ここに暮らして良かったと感じられるようなまち「弘前」の実現に向けて、一つひとつの課題に真摯に向き合い、取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

## 年頭にあたって

新年おめでとうございます。市民の皆様、ご壮健にて新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。「国の内外、天地とも平和が達成される」との由来がある「平成」も残すところあと4カ月となりました。市町村合併以降を振り返りますと、議員定数については、34人から現在では28人となっております。

また、平成24年には本会議インターネット中継の開始、本会議録の検索システムの導入、平成27年には弘前市議会基本条例を制定し、翌28年には予算決算常任委員会もインターネット中継を開始しました。今後も、常に透明性を確保するとともに、市民に開かれた信頼される議会を目指して参ります。

そして、昨年はりんご黒星病が多発し、生産者とともに黒星病の防除に取り組んだほか、議会として県や国に要望活動を行い、「りんご黒星病撲滅に関する決議」を議決し、りんご生産日本一の市議会として黒星病撲滅のため活動していくことを宣言いたしました。

さて、今年の干支は「亥」であります。「亥」の文字には、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味があります。人もりんごも無病で過ごし、来る新しい元号を皆様が健やかに迎えられることを切に願っております。

結びに、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして災害のない健康で幸多い年となりますことを心から祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。